

## 基本目標

### 1 市民と行政が協働するまち

- ◎地域づくりの担い手の育成
- ◎新城地区学習等供用施設の建設工事
- ◎市税等のスマートフォン決済の導入



### 2 健康で、安心して住み続けられるまち

- ◎子どもの貧困対策
- ◎コロナワクチン接種の実施
- ◎妊娠期から産後期までの切れ目のない支援



### 3 文化を育み、心豊かな人を育てるまち

- ◎国際化に対応できる人材育成
- ◎医療的ケア児の支援
- ◎児童生徒1人1台端末を整備



### 4 地域資源を活かした、活力あるまち

- ◎サンゴ礁を活かした観光PR
- ◎特産品の普及促進
- ◎空き店舗への家賃・リフォーム補助
- ◎ゆいマルシェを活用した農水産業の振興



### 5 安全・快適で持続的発展が可能なまち

- ◎防災対策(防災士の育成など)
- ◎西普天間住宅地区土地区画整理
- ◎伊利原市営住宅E棟の全面改修



### 6 平和をつなぎ、未来へ発展するまち

- ◎国および沖縄県に対し、「普天間飛行場の一日も早い返還と速やかな運用停止」、「危険性除去」、「基地負担軽減」、「返還期日の確定」を求める
- ◎西普天間住宅地区跡地における沖縄健康医療拠点の形成



## 市長からの報告

### 人口10万人到達!!

市政運営にあたりましては、『宜野湾がいちばん!』をモットーに、すべての市民が、さらに笑顔で幸せを感じられる施策を進めた結果、令和2年6月には、人口10万人に到達いたしました。今後とも住みよく、子育てしやすいまちづくりに取り組んでまいります。

### 市道宜野湾11号供用開始

市民が長年待ち望んだ市道宜野湾11号につきましては、令和3年3月28日に道路の全線供用を開始いたしました。

### 普天間小学校の校舎増改築事業

普天間小学校の校舎増改築事業については、令和3年度より本格的な校舎の工事に着手し、令和4年度末の完成を目指しており、校舎の安全性の確保及び教育環境の改善を図ります。

### 普天間飛行場の早期返還について

普天間飛行場があるがゆえに苦しんでいる市民のため、普天間飛行場の固定化を許さず、一日も早い閉鎖・返還を目指し、返還合意の原点である『危険性除去』と『基地負担軽減』の実現を引き続き求めてまいります。

令和2年度においては、新型コロナウイルス感染症拡大により、市民の皆さま並びに事業者につきましては、多大な影響がございました。本市においては、これまで市民の声に耳を傾けるとともに、飲食店をはじめ観光関連などの事業者支援や新生児における子育て応援給付金事業の経済対策、保育所や小中学校における感染症対策など様々な取り組みを実施してまいりました。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症の収束はいまだ見通せない状況が続いております。新しい生活様式等の周知を行い、今後とも、国や県と連携し、ワクチン接種事業やその他段階に応じた取り組みを速やかに実施してまいります。

市政運営にあたりましては、『宜野湾がいちばん!』をモットーに、すべての市民が、さらに笑顔で幸せを感じられる施策を進めた結果、令和2年6月には、人口10万人に到達いたしました。今後とも住みよく、子育てしやすいまちづくりに取り組んでまいります。



宜野湾市長  
松川 正則

人がつながる  
未来へつなげる  
ねたてのまち宜野湾

令和3年度の施政方針の一部を紹介しております。  
全文については市ホームページをご覧ください

